

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」長野駅前校		
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 1日		令和 7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 76名	(回答者数)	76名
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 1日		令和 7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での対応が多いことから、丁寧でより深いアセスメントができることが強みです。	・アセスメントは、児発管が実際のお子さんの姿から行う中で、お母様からの聞き取りや、支援の中で深い関わりを持っている支援担当者、お子さん自身からも聞き取りを行う事で、精度の高いアセスメントとなるよう取り組んでおります。・個別支援での姿や、小集団の中での姿を合わせて作っております。・個別療育のみのお子さんの場合は、学校と連携して学校訪問を行って、様子を拝見することで集団の中での姿を確認するようにしております。	これまで『登校に困り感のあるお子さん』への支援として、学校と相談員との連携を深め、毎月情報共有会を行ってきました。また、登校されているお子さんは通常の支援者会議等で、お子さんの姿を共有してきました。今後も、関係機関との連携を持ち、地域での支援に役立てるよう努めてまいります。
2	お子さんの発達段階にあった支援提供	アセスメントで得た情報から、「今の発達段階」の見極めを職員全員で行い、支援内容についても、児発管を中心に担当職員からの意見等を取り入れて個別支援計画を作成し、それにそった支援プログラムを作っていくことで、「今、取り組む支援課題」を提供しています。	今後も保護者様やお子様へのニーズや課題を丁寧に聞き取り、ご要望に応じた支援を提供できるよう努めていきます。また、計画の見直しも状況に応じて適宜行い、お子さんの成長につながる支援を行ってまいります。
3	支援を受けるお子さんにとって刺激の少ない環境を用意し、お子さんに合わせて視覚的なサポートも行っていることが強みです。	・支援で使用するスペースは、壁面や装飾のない壁やパーテーションを用いて、刺激のコントロールを行い、個別療育の時には、支援ブースを区切ることでより集中しやすい環境を整えています。・お子さんに応じて支援スペースの大きさや机の配置等を変更しております。	お子さんに応じて安心し集中して活動に取り組めるよう環境を整えてまいりました。今後も一人ひとりのお子さんに応じて、音や光、刺激物等の目や耳からの刺激が調整するなど、工夫して取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々とお子さんとの交流	主に個別支援を提供しているため、地域資源との関わりや繋がりの不足が希薄でした。	地域に開かれた事業所であるよう、地域の方々との交流を持てるよう取り組んでまいります。
2	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会等の提供	今年度、保護者様向けペアレントトレーニングを計4回開催しましたが、周知が遅れた事もあり参加者が限られた方になってしまった事が反省点です。	今後は、事前周知を3か月前位に行い、保護者様が予定を立てやすいよう取り組んでまいります。年間6回開催を目指してまいります。
3	教室の環境整備	お子さんの特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整したりすることで、少しでも広く利用者様が安心して活動に取り組める環境作りが必要です。	お子さんの特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整したりすることで、少しでも広く利用者様が安心して活動に取り組める環境作りに努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」長野駅前校
------	---------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 76名

回収数 76名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	17	4	2	・他の利用者さんや保護者の方の声が入り込んでしまうのが気になります。 (3人) ・少し狭いかな?と感じることがあります。 ・できれば職員さんの事も考えると、専用の業務室があるとより働きやすいのではと思う(1名) ・運動も取り入れているので、もう少し広い場所が良い(2名)。	ご意見をいただき、ありがとうございます。活動空間についてご意見をいただいた事を、上長へ伝えました。今できる事としては、集団療育や、運動活動に取り組む時に、スペースをいかに広く取って活動を行えるか、その都度職員間で話し合い、知恵を出し合って可能な限り広い活動スペースを確保して行けるよう取組んでまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	70	3	1	2		今後も法令を遵守した職員配置をしてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	63	7	0	6		今後は机の配置などにも考慮し、可能な限りすばらしい環境整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	71	1	0	4		今後も、利用者様が安心して通っていただける環境作りを努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	72	2	0	2		今後も保護者様とお子様の特性やご要望に合わせた療育を提供できるよう、支援の専門性を高めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	73	1	0	2		支援プログラム2025年2月公開完了。支援の説明を行う時に、公開している内容と照らし合わせる機会を設けてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	73	2	0	1		今後もアセスメントを適切に行い、お子さんと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	69	4	0	3		具体的な支援内容については個々の目標に応じて設定しております。適宜ご質問、ご相談に応じております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	74	0	0	2		今後もご利用者様からのご意見を出来る限り柔軟に受け止め、支援に活かしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	71	4	0	1		複数の指導員で担当するため、定めた目標に向かって職員全員で様々なアプローチを行うようにしています。今後も楽しく活動に参加していただけるよう、一人ひとりの興味・関心に沿った教材や活動の工夫に努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22	9	26	19		交流の機会につきましては、事業所の体制、ご利用者様のご意見を十分に考慮した上で検討してまいります。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	76	0	0	0		今後も契約時や更新時に丁寧な説明をおこなうよう努めてまいります。事業所内に書類を掲示しております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	76	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	55	7	4	10		2024年度ペアレントトレーニング 開催日 2025.1月18日(土)・1月20日(月) 2025.2月8日(土)・2月17日(月)
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	68	7	0	1		支援後のフィードバックでは日頃の状況を伝えることで、共通認識を持てるよう継続して取組んでまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	70	4	1	1		日頃からご利用者様のお困り事を伺ったり、計画更新時には面談の機会を設け、助言できる環境を整えております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	69	5	1	1		引き続き保護者様が相談しやすい環境を整え、お同いした情報を共有、支援に活かしてまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	11	17	22	今年度の保護者会を、2025年3月15日(土)開催予定で準備を進めております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	68	4	0	4	今後もお子様や保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	72	3	0	1	今後もお子様や保護者様とのコミュニケーションツールなど工夫して伝達が円滑になるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	61	6	1	8	インスタグラムや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信しております。今後も、継続して実施してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	74	1	1	0	個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	74	2	0	0	策定したマニュアルを定期的に保護者様に説明してまいります。周知の方法はだけでなく、SNS等で発信していけるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	71	4	0	1	月1回、防災訓練を実施しております。支援時間の都合上、ご利用者さんを交えた実働訓練は十分に実施出来ておりませんので、今後ご利用者様も参加した防災訓練を実施してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	73	2	0	1	今後安全に支援に取り組める環境であるか、日々のチェックを職員全体で取り組んでまいります。周知については教室に掲示する以外にSNS等でも発信してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70	3	0	3	今後事故が発生した際には保護者様に速やかに連絡し、状況説明できるよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	73	2	1	0	今後もお子様や保護者様が安心して通い続けられる居心地の良い場所を目指し、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	64	8	1	3	今後もお子様や保護者様が楽しみに来所される事業所となるよう、活動プログラムや支援教材を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	71	4	0	1	今後もお子様や保護者様のニーズに沿った支援の提供に努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

公表日 2025年 2月 15日

事業所名					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	運動課題を行うにあたり、もう少し広いスペースがあると良いと思いますが現時点では限られたスペースを工夫しています。	今後も、可能な限り広く運動スペースを確保できるよう職員間で相談し合って取組んでまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	1対1での個別支援を行っていることもあり、適切な職員体制を取れた上で支援を行っております。	基本人員配置はもちろんの事、専門性のある職員による支援提供も豊富に行っているよう取組んでまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	入口に段差がありますが、悪天候時など、滑りやすい時期には、お気を付けいただくようお声がけを行っております。	出入りの時には、職員がついてサポートをし、安全に出入りができるよう努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃業務や年に2回、大掃除を行い、清潔な環境で過ごせるよう心がけております。	使用した教材は毎度消毒を行い、清潔を保っております。消毒が完了したものは、所定の場所に戻し整えております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室はありませんが、パーテーションを使用してブースを区切り、個別のブースを利用いただけるようになっております。	お子様の必要な配慮面を考慮して、予約人数を調整したり、ベアリングの工夫を行ったりして環境配慮を行ってまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	改善が必要な点に関しては、PDCAサイクルに沿って、職員間で相談をしながら改善に努めております。	PDCAを行うにあたり、職員それぞれが主体的に関われるような工夫を行ってまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年に1度保護者様対象にアンケート調査を行っております。その結果を職員全体で共有し、ご指摘を頂いた点に関しては、早急に改善できるように対応しております。	アンケートでいただいた点については、上長へも報告し、環境を整えていけるよう努めてまいります。また、
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	業務改善が必要な際には、全体で話し合う以外に、上長と個別での面談を行い、意見を出しやすい環境を整備するよう努めております。	今後も、現場からの意見に傾聴し、お子さんの支援にしても、職員の働きやすさにしても相談し合える環境を大切にしております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現時点では、第三者による外部評価は行っておりません。	現在、第三者による外部評価については検討しております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	東京の発達支援研究所の定例研修に毎月ZOOMで参加しております。その他にも、法人内での研修があります。その他には、外部研修へも参加しております。	今後も、利用者様のニーズに沿った外部研修へも積極的に参加していける環境を用意していき、支援の資質向上となるよう努めてまいります。
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	個別支援計画に基づき、適切に支援プログラムが作成されるよう努めております。公表につきましては、準備中です。	支援プログラムの公表につきましては、2025年2月公開完了いたしました。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	少なくとも半年に1度アセスメントを行い、その時のお子さんや保護者様のニーズや課題を明確にし、そこを分析したうえで個別支援計画の作成をしております。	丁寧で適切なアセスメントから、お子様に沿った個別支援計画の「ねらい」が見えてくるよう、今後も取り組んでまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	個別支援計画を作成する際にはまずは児童発達支援管理責任者と担当職員とでお子さんにとって今の最善の計画になるよう検討を行っております。その後、事業所内で会議を行い全職員が共通理解して支援にあたるよう努めております。	今後も、お子様や現場職員からの「声」を大切に、児童発達としてお子様の成長や特性を把握した上で、適切な個別支援計画となるよう、必要な学びや話し合いの場を大切にしながら作成していけるよう取組んでまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	毎月、事業所内支援者会議を行い、個別支援計画についての会議日进行、全職員で共有しております。	定期会議以外にも、必要に応じたミーティングを大切に、細やかな対応となれるよう取組んでまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	お子さんの状況を把握するために、フォーマル・インフォーマルなアセスメント両方を使い、より細やかにお子さんの姿を把握するよう努めております。	より細やかなアセスメントを行う為に、多角的な視点をもてるよう努めてまいります。日々の行動観察も含めて、お子さんの姿を捉えていけるよう努めてまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	左記の狙いや支援内容を踏まえ、お子さんの支援に活かしております。個別支援計画の内容も、具体的な支援内容を設定し、作成するよう努めております。	今後も、移行支援や地域支援では、関係機関との連携を密に行えるよう、支援者会議での情報交換や書面での情報提供（保護者様の承諾を得て）を行ってまいります。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムについては、支援に当たる職員同士で情報共有を行い、プログラムの立案を行うようにしております。	今後も、事前ミーティングを丁寧に行い、職員間で「ねらい」を確認し、支援方法の確認等々を行うようにしてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎回のプログラムが固定化しないよう、支援に当たっては前回の活動記録を確認する等しながら支援プログラムを考えております。	今後も、活動記録の確認と合わせて、次の支援リーダーとなる職員への伝達をしっかりと行うことで、活動に広がりをもっていけるよう取組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	お一人おひとりのお子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせ個別支援計画の作成を行っております。	今後も、お子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせ個別支援計画の作成を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前の朝礼の際に連絡事項と本日の支援についての確認を毎日行っております。	今後も、支援前には、連絡事項と本日の支援についての確認を丁寧に行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	夕礼時に、その日のお子さんの様子について情報共有を行う機会を設けるようにしております。	これまででも、夕礼以外にも、担当者同士での振り返りを行ってきました。今後も継続してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援後には、支援を行ったお子様の支援記録を入力し、次の支援の担当指導員に情報共有が出来るようにしております。	今後も、支援に入る前の段階で前回の支援では、どんな様子で、何に取り組んだかを職員同士で確認し、次の支援に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月に1回のモニタリングを行っております。又、必要に応じて個別支援計画の見直しを行ってまいりました。	今後も利用者様の発達やニーズに対応し、期限内でも必要がある時には、個別支援計画の見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	「地域交流の機会の提供」以外の活動を利用者のニーズや課題に合わせながら組み合わせ支援を行っております。	段階的に「地域交流の機会の提供」の活動を計画し、ガイドラインに沿って支援を行えるよう努めて参ります
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	こどもの好む活動の他にもやりたくない活動がある際には、「やりたくないです」と他者に伝えることができる環境を作っております。	今後も利用者様が主体として自身で決められるように配慮した支援を提供できるように努めて参ります
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	日々支援に入っている指導員も多く参加しております
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	日頃から、学校や医療機関などと支援者会議や情報共有を行うことで、お子さんや保護者様が必要としている支援について共有・検討をする機会を設けております	各機関から共有していただいた情報については、職員間でも情報伝達を行い、支援に取り入れていけるよう、行っております。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校との情報共有を密に行っております。年間行事予定等を把握することで、利用時間等に配慮しております。	今後も、学校との情報共有を密に行ってまいります。定期的な情報共有会も行いながら、丁寧なサポートを行えるよう努めてまいります。
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	児童発達支援から放課後等デイサービスへ移行されるお子さんにつきましては、就学前に利用していた機関と、進学する学校とを交え、支援者会議を行うことで、必要な支援について検討する機会を設けております。	今後も丁寧な連携と移行伝達を行い、お子さんと保護者様が安心して進学していけるよう取組んでまいります。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	関係機関等で丁寧に情報共有を行うことで、相互理解が深まるよう移行支援者会議に参加しております。	今後も、関係機関等で丁寧に情報共有を行い、相互理解が深まるよう移行支援者会議に参加してまいります。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	長野圏域療育コーディネーター様に来所いただき、支援を見学いただきアドバイスをいただきました。	いただいたアドバイスを、事業所内でどのように支援に取り入れていかか検討し、保護者様へ説明を行い、了承をいただき支援に活かしてまいります。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	地域のこどもとの交流に関しては、現在交流はございません。	地域のこどもとの交流に関しては、現在検討中です。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	協議会等に積極的に参加しております。	今後も、積極的に参加してまいります。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	最近の事業所での様子や、家庭・学校での様子を支援後のフィードバックの時間や、相談支援の時間に共有を行っております。	今後も、ご希望が出た時や必要な時に、お子様の状況を踏まえ、それに合わせた支援内容や対応について相談支援を行ってまいります。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	今年度は、2025年1月～2月に4回開催実施。今年度、職員3名がペアトレ研修に参加いたしました。	左記の研修を活かして、保護者向けペアレントトレーニングを6回開催予定です。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更が起きた時に、「利用者負担」等について説明を行っております。	今後も必要な場面において、「利用者負担」等について説明を行ってまいります。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画の更新の際には保護者の方とお話をする機会を設け、保護者の方とお子さんに意向をお伺いをする時間を設けております。意向を踏まえ、個別支援計画の作成を行っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	個別支援計画を提示しながら丁寧に計画内容について説明を行っております。	説明を行う時には、保護者様に支援の目標や具体的な活動内容が伝わりやすいような説明を心がけております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者様から子育て等の相談があった時には、相談支援として面談の機会を設けるなどして、必要な助言や支援を行っております。	今後も保護者様から子育て等の相談があった時には、相談支援として面談の機会を設けるなどして、必要な助言や支援を行っております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	ママカフェを開催してきました。小さなグループでのママカフェ開催を行ってきました。	今後は、それ以外でのグループ形態での開催も検討していき、保護者間での交流サポートとなるよう取り組んでまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧にお話を伺う機会を設け、迅速に対応しております。	今後も、お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧にお話を伺う機会を設け、迅速に対応してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	長野駅前校専用のInstagramや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信してきました。	今後も、長野駅前校専用のInstagramや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してきました。	今後も、個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	お子さんや保護者様に伝わりやすい方法として、文字や絵・イラスト等を使って視覚的に伝える工夫をしております。	保護者様には、ビジネスLINEを通してコミュニケーションをとるなど、一人ひとりに応じた配慮を行ってまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	現時点では、地域の方々との交流がもてておりません。	地域住民参加型のイベントを検討し、実施していけるよう取り組んでまいります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	各種のマニュアルがあります。職員間で、マニュアルを共有しております。	今後も、マニュアルをもとにして、毎月防災訓練等を行い、有事の際にすみやかに対応していけるよう努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定しております。それをもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してきました。	今後も、業務継続計画（BCP）をもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者様より、事前に服薬についてや健康状態について情報共有を行っていただいております。	今後も丁寧な服薬や受診等の情報共有を行い、安全に努めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	事業所内で食事を行う機会がない為、医師の指示書まではいただくことがありません。	対象の保護者様にはアレルギー状況を確認し、万が一の事態とならないよう取り組んでおり、今後も継続いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	非常時に必要な避難の方法を確認するとともに、毎月安全点検を行うことで、お子さんが使用するブースや教員に危険性がないかどうかを確認しています。	今後も定期的な遊具や教室環境の完全確認を行い、安全な環境の中で支援を行えるよう努めてまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画を作成し、非常時にどのように行動するかを毎月確認の為に訓練を行っております。	非常事態での対応方法確認の為に訓練を行っております。訓練内容等を、教室内に掲示したり、教室のビジネスラインで発信したりしてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットが起こった際には、資料を作成し職員全体に共有しております。また、どのような改善策を行っていくか話し合い、全体周知してきました。	今後も、改善策が決まったら、それを書面での回覧だけでなく、朝礼や夕礼の時間に周知し再発防止に努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	全職員が虐待防止研修に参加しております。	今後も、全職員が虐待防止研修に参加していけるよう体制を整えてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束が必要となる場合には（現時点では対象者がおりません）職員間で話し合い、職員全体で共有いたします。その際は、個別支援計画にも記載いたします。	契約時に、やむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行っており、まずは、そうならない為の支援に取組んでまいります。	